



上高地 防災マップ

Kamikochi Hazard Maps

上高地の地形は、北アルプスの隆起運動と激しい浸食作用に焼岳の火山活動が加わって形成されました。この特殊な地形を基盤に、河川や土砂の自然な流動によるかく乱作用を必要とするケショウヤナギの存在に象徴される、貴重な生態系が成立しています。こうした上高地の成り立ちは、いつの時代にも人々を魅了する普遍的で傑出した自然景観を作り出している一方で、災害を招きやすい要因となっています。上高地を訪れる一人ひとりが、上高地の成り立ちと災害特性を理解したうえで、防災・減災に対する心構えをもっておくことが重要です。

作成：長野県松本地域振興局、松本市

令和4年3月発行

各種情報入手先一覧

長野県防災情報ポータル



松本市ホームページ



上高地公式ウェブサイト



自然公園財団 上高地支部ホームページ



携帯電話サービスエリアの確認



NTTドコモ



au



Softbank

※上高地内の遊歩道等には携帯電話の不通エリアがあるため、拠点施設等であらかじめ使用可能場所等を確認してください。



上高地では地震に注意

上高地周辺の地域で発生する地震は震源が浅いため、M5 クラスの地震が起こった場合でも、震源直上では最大震度5相当を超える揺れに見舞われることがあるため、注意が必要です。



梓川の川床の上昇により、土砂災害、洪水発生のリスクがあります。



地震等により遊歩道に落石が生じる場合があります。



大雨により土砂が押し出され通行困難となる場合があります。



焼岳の噴火警戒レベル2では、小規模な水蒸気噴火が発生し、火口から概ね 1km まで噴石が飛散する可能性があります。焼岳小屋は閉鎖し、登山は禁止となります。噴火警戒レベル3では、火口から 1km を超えて噴石が飛散する可能性があります。この時、県道に大きな噴石が飛散している状況となるため、県道への立ち入りが禁止され、上高地からの退避が中止となります。

噴火警戒レベル

住民避難等の判断基準については、気象庁が発表する「噴火警戒レベル」を基に設定しています。影響する危険範囲や、必要な防災対策を表す指標で、火山活動の状況により1～5レベルに区分けされており、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動がひと目で分かるキーワードを設定しています。

噴火警戒レベル	居住地域及びそれより火口側	火口周辺	火口内等
レベル5	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。
レベル4	避難準備	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。
レベル3	避難	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。
レベル2	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。
レベル1	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。



凡例

- ▲ 山頂 (山岳名)
- 遊歩道・登山道
- 車道
- 焼岳資材運搬道路 (松本砂防事務所)
- 管理用道路 (松本市)
- 治山運搬路 (中信森林管理署)
- 川・沢 (川・沢名)
- 登山届ポスト
- 山小屋
- ▲ 注意喚起情報
- 危険情報
- 想定火口範囲
- レベル2の規制範囲 (想定火口から約1km)
- レベル3の規制範囲 (想定火口から約2km)
- 登山道・道路の規制点 (レベル2～)
- 規制対象登山道 (レベル2～)
- 指定避難所
- ヘルポート
- 白い点線の範囲は裏面に拡大掲載

徳本峠ルートについて

徳本峠越えは、かつて上高地へのメインルートで、ウォルター・ウェストンや芥川龍之介など数々の偉人も使ったルートですが、上高地へのバスの乗り入れが始まってからは、このルートを歩く人は少なくなっています。しかしながら、災害等により県道上高地公園線が通行不能となった場合には、このルートにより上高地から下山することも想定されます。山小屋や地元のボランティア、国・県・市など多くの人により登山道の整備がされていますが、昨今の大雨災害により大きな被害を受けており、通行が不能となっています。現在は通行できません。

(令和4年3月現在)

県道上高地公園線は、雨量により通行規制を行う場合があります。(連続雨量 80 ミリ、時間雨量 20 ミリ、15 分雨量 10 ミリ)